

第4回



「森づくりサポーター活動」開催！

早春の光が差し穏やかな天候のもと、平成30年度最後の「森づくりサポーター活動」が、平成31年3月9日(土)に開催されました。

当日は、森づくりサポーター96名、ガールスカウト18名、計114名の多くの皆さんが参加し、江見所長のあいさつと活動内容の説明のあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、平成22年～24年植栽の里の森ゾーンの落葉樹林地と平成16年～17年植栽のふれあいゾーンの常緑樹林地で間伐と枝落とし作業を実施しました。間伐や枝落としは残った木の生長を促し健全な森に育成していくため欠かせない作業です。少し太い木の伐採や枝払い、切った木の整理などなかなか大変な作業でしたが、皆さん熱心に取り組んでいただき、明るくなった森は爽やかな風を受け一段と元気を取り戻しました。



開会式の様子



落葉樹林地の間伐・枝落とし作業

常緑樹林地の間伐・枝落とし作業

一方、ガールスカウトの皆さんは、中村寛先生の指導のもと、「森で春を見つけよう」をテーマにした自然教室で、地面にはりついて春を待つロゼット状の植物や寒い冬を過ごしてきた冬芽の様子、ユズリハやオニグルミ、蔓性のクスなど葉が落ちたあとと枝に残る動物の顔に似た葉痕(ようこん)など様々な植物に触れながら春の訪れを感じました。そのあと、クスギやコナラの間伐材にシイタケ菌を打ち込む体験をしました。



ロゼット状植物の観察

冬芽の観察

ユズリハの葉痕観察

シイタケ菌打ち体験

活動後は、みんなで豚汁とおにぎりを賞味し、体の温もりを感じるとともに体の疲れがちよっぴり癒されました。

参加していただきました皆さん、ありがとうございました。来年度も、さらに充実したサポーター活動を計画していきますので、どうか皆さんのご協力をお願いします。